

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日:2022年9月11日

| | |
|--------------------------|--|
| 所属学部／研究科・学科／専攻 | 国際日本学部国際日本学科 |
| 留学先国 | アメリカ合衆国 |
| 留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語) | 和文: カリフォルニア大学バークレー校 現地言語: University of California, Berkeley |
| 留学期間 | 2022年5月～2022年8月 |
| 留学した時の学年 | 3年生(渡航した時の学年) |
| 留学先での学年 | 3年生(留学先大学で在籍した学年) |
| 留学先での所属学部等 | <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。 |
| 帰国年月日 | 2022年8月18日 |
| 明治大学卒業予定年 | 2024年3月 |
| 留学先大学について | |
| 形態 | <input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input checked="" type="checkbox"/> その他 |
| 学年暦 | 1学期:8月～12月 2学期:1月～5月 3学期: 4学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬) |
| 学生数 | 42,327 |
| 創立年 | 1868年 |

| 留学費用項目 | 現地通貨 (ドル) | 円 | 備考 |
|-------------|-------------------|------------|---|
| 授業料 | 6270 (11units) | 815,100円 | Application fee, Registration fee, International service fee, Document management fee は別途 938ドル |
| 宿舍費 | 6225 | 809,250円 | meal plan を含む |
| 食費 | | 円 | |
| 図書費 | 157 | 21,195円 | |
| 学用品費 | 0 | 0円 | |
| 携帯・インターネット費 | 105 | 13,650円 | 3か月のSIMカード |
| 現地交通費 | 0 | 0円 | キャンパス内のバスは無料 (<input type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車) |
| 教養娯楽費 | 0 | 0円 | |
| 被服費 | 140 | 18,900円 | |
| 医療費 | 0 | 0円 | 保険で全て下りたため |
| 保険費 | | 30,660円 | 形態:3か月保証 |
| 渡航旅費 | | 268,010円 | |
| ビザ申請費 | | 20,000円 | SEVIS 費が別途350ドル |
| 雑費 | | 67,750円 | ワクチン接種、陰性証明書 |
| その他 | | 30,000円 | セッション中、セッション後の小旅行 |
| その他 | | 円 | |
| 合計 | | 2,364,515円 | |

渡航関連

| |
|---|
| 渡航経路 |
| 往路 出発地:成田空港 目的地:サンフランシスコ空港 経由地: 復路 出発地:ロサンゼルス空港 目的地:成田空港 経由地:サンフランシスコ空港 |
| 渡航費用 |
| ①往復チケットを購入した場合 航空会社:JAL 料金:258,460 円(復路のロサンゼルス空港からサンフランシスコ空港までは別で購入。ユナイテッド航空で 9,550 円) |
| ②片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: 料金: 復路 航空会社: 料金: ∴合計: |
| 航空券購入方法 |
| <input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:エクスペディア) <input type="checkbox"/> その他() |
| 滞在形態関連 |
| 1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など) |
| <input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前:International House) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ |
| 2)部屋の形態 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数) |
| 3)共有部分 |
| <input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可) |
| 4)住居を探した方法: |
| 先輩方の留学体験記を参考に、住居を探しました。 |
| 5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス) |
| <p>I-House は建物自体のつくりは少し古いものの、内装は綺麗で清潔感がありました。部屋には最低限の家具があらかじめ置いてありますが、枕やベッドシーツはないので別途購入が必要。また明かりがつかなくなったり、窓が開かなくなったりとたまにトラブルが発生することがありましたが、頼めばすぐに直してもらえます。</p> <p>トイレとシャワーは共有ですが、平日の間は毎日清掃が入るので、特に汚れ等が気になることはありませんでした。</p> <p>食事はミールプランが付いており、平日は 3 食、土日は 2 食付いてきます。毎日色々な種類の食事が出ますし、お米もあった(日本のとは少し異なりますが)ので、個人的には最後の日まで楽しむことができ満足でした。自炊できるキッチンはありませんが、電子レンジは無料で使えるのがありました。冷蔵庫は別料金で貸し出しがあります。</p> <p>勉強スペースは、ホールや図書室、コンピュータールームが主で、その時々気分や雑談したいかどうか等によって使い分けていました。またこのコンピュータールームでは印刷を行うことができますが、最後の週当たりで印刷するのにお金がかかるようになったので注意です。お金がかかるという点でいうと、洗濯機と乾燥機もお金がそれぞれかかる(1.25ドルずつ)ので注意です。</p> <p>セキュリティ等は特に問題はなかったですが、留学期間中 2 度ぼや騒ぎがありました。結局何が起ったのか等については分からないままになっているのですが、とにかく警報が鳴ったら冷静に動くことを心掛けていれば大丈夫だと思います。</p> <p>最後になりますが、I-House 名前の通り様々な国籍の人が集まる寮で、毎週の coffee hour の時だけでなく、日常生活のなかでも色々な人との交流を楽しめます。先ほど何点か不満も挙げましたが、結果的に私はこの寮に住めたことをとても満足しています。パークレーに行く際はぜひ I-House を選択肢の 1 つに入れていただければと思います。</p> |

現地情報

| |
|---|
| <p>1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例: 現地の病院, 学内の診療所)</p> <p><input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり (治療を受けた場所: 海外危機管理サポートデスクに紹介していただいた現地の病院)</p> |
| <p>2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。(例: 留学先大学の相談窓口, 現地の友人等)</p> <p><input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等: 明治大学で加入した海外旅行保険の相談窓口)</p> |
| <p>3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?</p> <p>パークレーのキャンパス内で事件等が起こると、warn me というメールが UCB から送られてくるので基本的にはそこから情報を収集していました。特に防犯対策等はありませんでしたが、20 時以降は 1 人で出歩かないように心がけていました。</p> |
| <p>4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)</p> <p>現地では日本から持ってきた携帯電話に Mint Mobile というアメリカ用の SIM カードを入れて生活していました。Mint Mobile はパークレーの大学からメールで紹介があり、購入しました。月 10GB の 3 か月プランで 105 ドルでした。基本的にどこでも使うことができますが、都心から遠く離れた場所に行くと繋がらないことが多々ありました。寮の Wi-Fi は最初設定に少し手間取りましたが、繋がった後は安定していたと思います。大学のキャンパス内には大学の Free-wifi が飛んでおり、授業の時などに使っていました。</p> |
| <p>5) 現地での資金調達はどのように行いましたか? (例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)</p> <p>日本から持ってきたクレジットカードとデビットカードで済ませていました。現金は日本円の 10 万円分持っていました。使用するタイミングは割り勘をするときぐらいでした。</p> |
| <p>6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。</p> <p>主に4つあります。</p> <p>① 折り畳み式のハンガーフック。ドア上部に挟むだけで、何本かのハンガーを吊るせるフックになるというアイテムで、部屋干しをするときに役立ちました。どうしても乾燥機に入れたくないものがあるという方は持って行って損はないと思います。ダイソーやニトリに売っています。同じ洗濯グッズである洗濯ネットも日本の方が安価なので、予め持って行った方が吉です。</p> <p>② フォーマルな服装。現地の授業中に何度かプレゼンがあったのですが、その時にフォーマルな格好を求められてとても焦りました。半袖でもいいので、シャツとスラックス等があれば現地でわざわざ調達しなくて済むと思います。また留学期間中は就活をしないと決めて現地へ行く人もいるかもしれませんが、念のためシャツやジャケットなどは持って行っておくといざという時に対応できて便利です。さらに言うと、スーツで撮った証明写真を持っていくとより安心できると思います。</p> <p>③ ジム用の服や靴、水着。これは持っていきべきというほどのものではないですが、大学のキャンパスには無料で使えるジムやプールがたくさんあります。現地に行く前は行かないだろうと思っても、意外とヘビーユーザーになる可能性もあります。水着などは体に合ったのを見つけるのが大変なので、日本から持っていくといいと思います。</p> <p>④ 小さなポット。ダイニングに行くとお湯がありますが、それ以外の場所ではお湯が使えないので、部屋でコーヒーやお茶が飲みたい時や即席麺を食べたい時にポットはとても便利だと思います。</p> |
| <p>7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)</p> <p>渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払いました。</p> |

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

| | |
|--|---|
| 1)留学先で取得した単位数合計 | 本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。 |
| 3 単位 | <input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:) |
| 2)履修登録の時期・方法及び履修制限 | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() ・履修の制限はありましたか？ 特になし | |
| 3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。 | |
| 履修した授業科目名(留学先大学言語): | 履修した授業科目名(日本語): |
| Negotiation and Conflict Resolution | 交渉術 |
| 科目設置学部・研究科 | Haas school of business |
| 履修期間 | 2022 年 5 月 23 日から 7 月 1 日まで |
| 単位数 | 3 |
| 本学での単位認定状況 | 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) |
| 授業形態 | 講義形式(チュートリアル, 講義形式等) |
| 授業時間数 | 1 週間に 150 分が 3 回 |
| 担当教授 | Cort A Worthington |
| 授業内容 | 授業名にもある通り、交渉術について学ぶ授業です。授業は前半と後半に分かれており、前半では様々な場面における交渉術を実際に生徒と実践する中で学びます。基本的には生徒と一対一の交渉を行います。たまにグループ間同士の交渉も行いました。場面は、車の買取の場面や給料の引き上げを交渉する場面など多岐に渡ります。授業後半では、前半のワークのフィードバックを行い、最後に先生から交渉のプロセスや理論等について説明があります。 |
| 試験・課題など | ・課題 課題は主にリーディングとなっており、事前に提示されている本を毎授業につき20ページから40ページほど読む必要があります。セッション全体を通して考えると、4冊の本の範囲を網羅しなければなりません。テスト前に全ての範囲を見直すのはかなり大変なので、普段から本を読みながら要点をまとめておくのをおすすめします。 ・試験 試験の形式は選択問題と穴埋め問題、記述問題で、中間テストと期末テストがそれぞれ一回ずつあります。試験内容は、授業のスライドの内容と予習のリーディングから出ていました。とにかく範囲が広いので、計画的に勉強していく必要があります。周りの学生をみると、自分で本等の要点をまとめたメモを作って勉強している人が多かったと思います。穴埋め問題や記述問題についてはぴったり答えと一致していなくても点数をもらえることがあるので、とにかく空白は作らない方が吉です。 |
| 感想を自由記入 | この講義はパークレーで受けた講義のなかで一番印象に残っている講義です。前述したとおり、生徒との実践を踏まえて交渉術を学んでいくので、この講義では必然的に様々な生徒と関わることができます。慣れるまでは、自分の思っていることが上手く伝えられぬまま交渉が終わってしまい、悔しく思うことが多かったです。しかしながら回を追うごとに工夫することで、それを補うことができました。 また生徒と関わる機会が多いので、友達も作りやすいです。さらに授業に参加している生徒は積極的な生徒が多く、先生も小さなことでも質問を投げかけてくれるので、授業中の挙手率はとても高く、活気溢れたクラスでした。 講義時間中は電子機器を使うことができないので、パソコンでノートを取れないという不便さがありました。ですが、授業のスライド自体は先生がテスト前にすべてあげてくれるので、メモできなかったところがあっても慌てる必要はないと思います。ちなみに電子辞書は使用可能なので、分からない単語等は調べることができます。 先ほども述べたように、実際に生徒と交渉するときは何度経験しても緊張しましたし、相手の言いたいことを正確に聞き取り、学んだテクニックを念頭に入れながら交渉を行うのはかなり骨の折れる作業です。一方で、この講義は交渉術について予備知識がなくても予習をすれば割とすんなり理解できる部分は多く、何より無事交渉が成立したときに感じる喜びはとても大きいです。交渉術自体様々な場所で活用することができるものなので、この授業を履修してみることはかなりおすすめです。 |

| 履修した授業科目名(留学先大学言語): | 履修した授業科目名(日本語): |
|---------------------------------|--|
| Introduction to Public Speaking | パブリックスピーキングの入門 |
| 科目設置学部・研究科 | college writing programs |
| 履修期間 | 2022年5月23日から7月1日まで |
| 単位数 | 3 |
| 本学での単位認定状況 | 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) |
| 授業形態 | 講義形式(チュートリアル, 講義形式等) |
| 授業時間数 | 1週間に120分が3回 |
| 担当教授 | Lindsey Lanfersieck |
| 授業内容 | パブリックスピーキングのスキルを基礎から学びます。セッションを通して計3種類のパブリックスピーキングを行います。 |
| 試験・課題など | <p>・課題 セッション全体を通してあった課題は、予習としての教科書のリーディングと Listening journal です。プレゼンが始まると、プレゼンの準備が課題内容に加わりました。予習するリーディングの内容はあまり授業では触れられていなかった印象です。前述したとおり、セッションを通して3つのプレゼンを行う必要があるため、1つのプレゼンが終わったらすぐに次に取り掛かるといった感じで、忙しく動かなければなりませんでした。</p> <p>・試験 試験は特になかったです。一度グループで予習のリーディングに関するクイズを解くというのがありますが、一番正答率が高かったグループのみに加点があるというもので、試験とは異なるものでした。主な採点基準は、課題(Listening journal やプレゼンのアウトライン等)の提出と3種類の speech の出来、授業の参加点です。</p> |
| 感想を自由記入 | <p>この講義ではパブリックスピーキングを基礎から学ぶことができます。 私は国際日本学部のスピーキングの授業を履修した後に本講義を受講したので内容的にはかぶっている部分も多く、理解しやすかったです。先生も優しい方で、何度も重要なところを繰り返し話してくださっていたので、講義自体聞き取りやすかったと思います。 講義自体はスピーチをしている以外の日は一方的な講義を受けている時間が長く、挙手をする機会はあまりありませんでした。そのため、同じくセッションAで取っていた negotiation の授業とはクラスの雰囲気という点では対称的だったと感じます。 セッションを通して、3つのプレゼンを6週間でこなさなければならなかったのがハードでした。プレゼンの内容は、Informative speech, Persuasive speech, Entertainment speech の3つで、幅広い場面に対応することができる題材となっていました。先生からのスピーチに対するフィードバックはかなり細かな点まで行っていただけだったので、プレゼンの改善は行いやすかったです。</p> |

| 履修した授業科目名(留学先大学言語): | 履修した授業科目名(日本語): |
|---------------------|--|
| Marketing | マーケティング |
| 科目設置学部・研究科 | Haas school of business |
| 履修期間 | 2022年7月5日から8月12日まで |
| 単位数 | 3 |
| 本学での単位認定状況 | 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) |
| 授業形態 | 講義形式(チュートリアル, 講義形式等) |
| 授業時間数 | 1週間に150分が3回 |
| 担当教授 | Mohammed Nadeem |
| 授業内容 | この講義では、市場構造や4P, 5C といったマーケティング戦略の基礎を学びます。講義前半では教科書の予習部分の解説、後半ではcase study を用いたディスカッションを行っていました。 |
| 試験・課題など | <p>・課題 課題は基本的に教科書、case study, article を事前に読んでおくことです。特にcase study と article はあらかじめ読んでおかないとディスカッションに参加できないので読むことが必須です。合計でだいたい20ページ前後を毎授業のために読まなければなりません。これらの予習に加えて、毎週末その週に扱ったcase study に関するいくつかの質問にグループで答えるといった課題がありました。また臨時的な課題で、case study のグループプレゼンが1つとこれまたグループで行う field work、それに関する小プレゼンと writing assignment が1つずつありました。セッションを通して2回ゲストスピーカーのトークがあるので、それに関するリフレクションペーパーも2回あります。</p> <p>・試験</p> |

| | |
|---------|--|
| | <p>試験は中間テストと期末テストが1回づつオンラインであります。どちらのテストも内容は記述問題と選択問題が含まれていますが、穴埋め問題は期末テストにだけ含まれていました。「単位を取るのではなく、授業の内容を理解し自分のものにする事に集中してほしい」というのが基本的な先生の考え方だったため、試験の前にプレ問題が配布されました。すべての問題がそこから出題されるわけではないですが、かなりの確率で引用されているので要チェックです。</p> |
| 感想を自由記入 | <p>前述の通り、この授業ではマーケティングについて基礎から学ぶことができます。私は基礎知識がほとんどなくこの講義を受けましたが、特段理解しづらいところはなかったですし、もしあっても授業が教科書ベースなので教科書を読めば解決することが多かったです。</p> <p>先生は生徒思いの方で、授業の前には生徒とマンツーマンで話をする機会を作ってくれていました。実際私の中間テストの点数が芳しくなかった時も話を聞いてくださり、アドバイスをいただきました。</p> <p>講義のなかでは、挙手をしたり逆に先生から名指しでさされる機会が多かったです。名指しと聞くと少しヒヤッとするかもしれませんが、分からないときは分からないといえ先生も理解してくださるので、過度に緊張する必要はないと思います。しかしながら、参加点も評価のなかに含まれているので、発言した方が評価的にあがりますし、先生に早く名前を覚えてもらえます。</p> <p>先ほど課題を上げた際にお気づきの方もいるかもしれませんが、ほとんどの課題がグループで行うものです。このグループというのは、最初の授業の際に決めたメンバーで最後まで変わりません。約6週間を共にするメンバーなので、そういった意味では友達が作りやすい環境ではあります。</p> <p>また課題の1つに field work というのがありました。私たちのグループはグーグルの社員さんに Google doorbell のマーケティング戦略について zoom を介して取材を行いました。その他にも実際に salesforce を訪れて取材しているグループもありました。field work の題材は、グループのなかで話し合い決定します。私たちのグループには親戚に Google で働いている方がいたため、Google が取材先になりました。英語で行うフォーマルな取材を実際に体感することができましたし、なにより貴重なお話をたくさんいただけて、忘れられない思い出になりました。</p> |

| 履修した授業科目名(留学先大学言語): | 履修した授業科目名(日本語): |
|---------------------|---|
| Stress and Coping | ストレスとその対処法 |
| 科目設置学部・研究科 | Psychology |
| 履修期間 | 2022年7月5日から8月12日まで |
| 単位数 | 2 |
| 本学での単位認定状況 | 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) |
| 授業形態 | 講義形式(チュートリアル, 講義形式等) |
| 授業時間数 | 1週間に150分が2回 |
| 担当教授 | Andres G Martinez |
| 授業内容 | ストレスの生物学的、社会的要因等やストレスの対処法、またストレスに関連する心理学の分野を学びます。 |
| 試験・課題など | <p>・課題 ストレスやその対処法に関するリフレクションペーパーが2つとRPPが主な課題です。このRPPとは学部で行われているリサーチに協力するというもので、オンラインで行いました。またリフレクションペーパーに関してはフィードバックがないため、改善すべき点分からないという問題がありました毎週出る課題は特にはないですが、スライドに予め目を通しておくと授業の内容が理解しやすくなります。</p> <p>・試験 期末と中間の2回テストがあります。どちらも記述式のテストで、授業のスライドから出題されます。オープンブックでオンラインのテストなので、スライドを暗記する必要はありません。しかしながら試験時間は意外と足りないため、スライドの該当部分を一から探していると解き終わらなくなる可能性があります。</p> |
| 感想を自由記入 | <p>この講義は一方的に先生が話している授業なので、挙手を求められることはほとんどありません。聞いてメモするだけかと思われるかもしれませんが、先生の説明のスピードが速いので意外とゆとりはありません。</p> <p>先生はかなりダイナミックに動いて説明をしてくださるので、飽きることがありませんでした。また講義の内容も、ストレスについてだけでなくそこから派生して happiness や emotion のような心理学の分野の内容も取り扱っており、とても興味深かったです。</p> <p>授業の内容自体は基礎的なところが多いので、特に予備知識は必要ないと感じました。</p> |

卒業後の進路について

| |
|--|
| 1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要) |
| <input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他: |
| 2)進路決定の際に活用したウェブサイト, 書籍, 機関など |
| 3)就職を選択した方は, 差し支えなければ内定先を教えてください。また, その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前, あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は, 差し支えなければ現時点で希望する業界, 職種等を教えてください。 |
| 4)就職活動中・終了に関わらず, 就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い, 留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は, 留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。 |
| 5)進学を選択した方は, 差し支えなければ進学先を教えてください。 |
| 6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備, 試験対策等)をお願いします。 |
| 7) その他を選択した方は, その進路を選択した理由と, 留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。 |

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備, 試験勉強, 留学中, 留学後, 特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例: 語学試験の勉強, 選考, 出願, ビザ申請・取得, 航空券購入, 予防接種, 滞在先の確保, 留学中の中間試験, 期末試験, その他イベント等

| | | |
|----------|---------|--|
| 留学開始年の前年 | 1月～3月 | |
| | 4月～7月 | TOEIC IP Listening and Reading 受験 |
| | 8月～9月 | |
| | 10月～12月 | TOEIC IP Speaking and writing 受験 海外トップユニバーシティ留学サマーセッションズに応募 |
| 留学開始年 | 1月～3月 | 学内選考可否発表、UCBに出願・履修登録、ワクチン接種証明書取得、寮申し込み |
| | 4月～7月 | ビザ申請・取得、予防接種、航空券購入、滞在先の確保 |
| | 8月～9月 | |
| | 10月～12月 | |
| 留学/帰国年 | 1月～3月 | |
| | 4月～7月 | |
| | 8月～9月 | |
| | 10月～12月 | |

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

私が UCB を留学先として選んだ理由は主に2つあります。まず 1 つ目は、UCBのあるカリフォルニア州が民族や人種の多様性に富んだ土地だったからです。そこで色々な人と出会って関係を築けたらと思い、UCBに惹かれました。また、UCBがビジネスの分野に精通している大学であったのも理由の1つです。海外の視点からビジネスの分野を学ぶのに、UCBは最適な場所であると考えました。

以上主に 2 つの理由でUCBに行ったわけですが、現地での生活は想像以上に楽しかったです。前半は negotiation の勉強量加えて public speaking の用意が毎週あり、記憶がないほど忙しかったです。ですが、合間の時間で寮の coffeeshour に参加したり、授業で一緒になった留学生や現地生とランチに行ったりと充実した日々を過ごすことができました。正直授業で一緒だった人とランチしたりできるようになったのは、かなり時間が経った後でしたが、それでも達成できた時はとても嬉しかったのを覚えています。

セッション後半はだんだんと授業や莫大なReadingにも慣れはじめ、休日に遠出することが増えていきました。ロサンゼルスユニバーサル、ディズニー、シリコンバレーなど、週末の時間を利用して、本当に色々な場所に行きました。一生忘れることができない思い出がたくさんできましたし、様々な出会いもありました。もちろん旅行先での生活だけでなく、パークレーでの生活もとても楽しかったです。授業を受けて、みんなで寮に帰り、たまたまダイニングに居合わせた人と一緒にご飯を食べる。日常のほんの 1 コマですが、これほど楽しかったことはありません。このダイニングでご飯を食べているときに意外と寮のいろんな人と関わるきっかけになっていたと思います。

留学から帰った今振り返ってみて、就活で悩んだとき、課題がつかかったとき、色々な人と関わってみたいのに内向的な性格が邪魔をして上手くいかない悩んだ時、本当にいろいろな人に助けてもらったなと感じます。これは現地に行き行って感じたことですが、留学に行ったからと言って、必ずしも違う国の人といなければいけないということはないと思います。留学の教訓のようなものに「日本人同士で固まるべからず」というのをたまに耳にしますが、その考え方に縛られすぎると逆に多様な人との関わりを逃すこともあると思います。(もちろん固まりすぎはよくないとは思いますが)同じ日本人でも考え方は人それぞれですし、そこで関りがあったからこそ新たに広がる輪や出会いもたくさんあります。留学だから現地の人や他の国から来た留学生と関わらなきゃと気を張りすぎず、色々な人と関わろうといった考え方で留学先での出会いは十分充実したものになるのかなと私は思います。

最後に。私は留学に行く前、なにか新しいことに挑戦することがとても苦手でした。ですが今は留学という新しいことに挑戦して正解だったと強く思います。もし私と同じように新しいことに挑戦するのが苦手だと思っている人がいたら、とりあえず小さなことでもいいので何か 1 段階留学に必要なステップを踏んでみてください！意外と 1 歩進むと、とんとん進めることがあります。

この体験記が、留学に踏み出してみたいと思っている方の力に少しでもなれば幸いです。